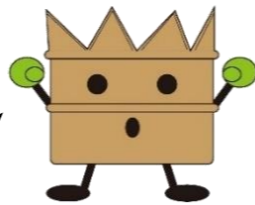


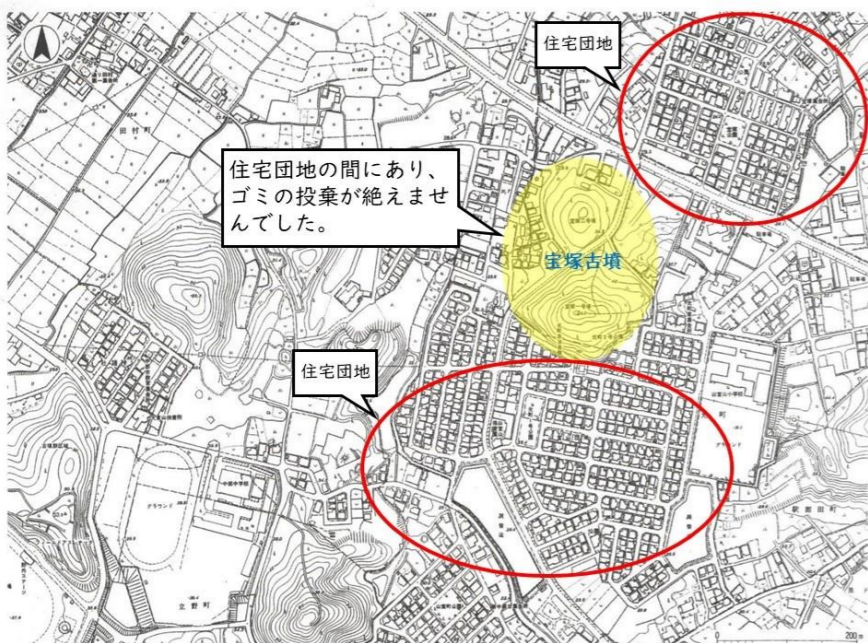
今年度最終号は
やっぱり船形埴輪
です。



【リマインド・世紀の大発見】

先月号の問題の答え、残りの三大神器は八尺瓊勾玉と八咫鏡の2つでした。さて、今年度も最終月となりました。はにわ通信の2021年度最終号はやはり「船形埴輪」で締めくりたいと思います。

そこで、船形埴輪がどうやって発見されたかを漫画にしてみました。ご覧ください。

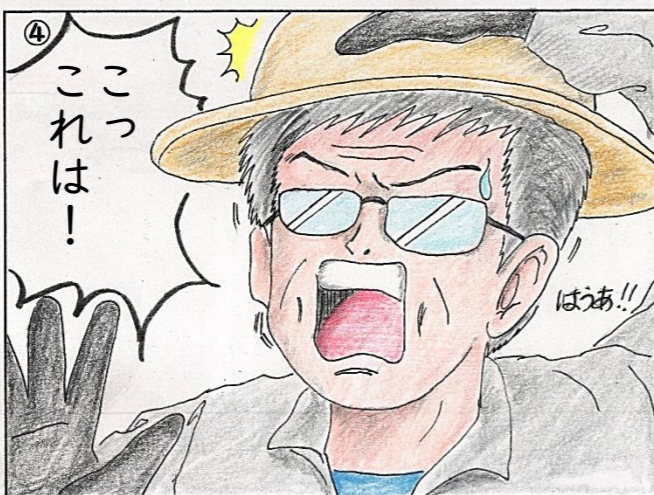


宝塚古墳は住宅団地と住宅団地に挟まれた位置にあり、以前はうっそうとした松林と竹林が広がり、ゴミの投棄が絶えませんでした。

松阪市は平成10(1998)年8月～文化庁や三重県教育委員会と協議し、古墳を整備して公園を作ろうという方針になりました。

宝塚古墳の調査は翌年平成11(1999)年2月から始まり、11ヶ月後の平成12(2000)年1月に古墳の形状が判明しました。

その2ヶ月前のこと…



出土したばかりの船形埴輪

現れたのは船の形をした埴輪でした。葺石と土砂に混っていたものの、その外形は明らかに人の手で作られたもので、置かれていたのが祈りをする造り出しの谷間にあたる場所だったためほとんど破損することなく、各部材が土砂で流されず原型を保って出土したのです。

国内でもこれほど大きな船形埴輪は例が少なく、装飾においても他に類を見ない豪華な埴輪でした。誰も予想しなかったこの出土品は「世紀の大発見」として注目を集め、その後「文化財センターはにわ館」ができるきっかけになりました。

発見された当時は海外にも伝えられるほどのニュースにもなり、はにわ館にも連日たくさんの方が訪れました。しかし22年後の今は、地域の学校の遠足や社会見学、生涯学習の一環として来館し、見学する人が大部分になりました。

そんな船形埴輪。現在は、はにわ館休館中で見学できませんが、来月には再び見学できるようになります。その際には初めての人も一度見学した人も改めて船形埴輪に会いに来てください。

皆様のご来館をお待ちしております。

(担当)

【3月 弥生】

鈴の森公園の梅の花がほころび、日差しや風に春の息吹を感じるこの頃です。3月には、ひな祭りや初午大祭があり、春の訪れを喜び、無病息災を願う厄払いの行事です。そして感染拡大により今は不自由な生活を過ごしている子どもたちが、卒業を迎える時期となります。新たなスタートとともに、希望に満ちた心安らぐ春が来ることを願っています。

文化財センターでは、空調等改修工事のため12月から休館しております。まん延防止等重点措置期間が延長になり、2月末に予定していたワークショップも中止となりました。工事もこの1ヶ月で大詰めとなり、終わり次第、開館準備を行う予定をしています。

はにわ館は4月1日(金)から、ギャラリーは4月12日(火)から再開させていただきます。もうしばらくお待ちください。

(所長)



←よろしければアンケートにもご協力ください。
感想等をお聞かせいただければ、今後の参考とさせていただきます。

リマインド・世紀の大発見

文化財センター はにわ館&ギャラリー催し物予定

【はにわ館】

空調工事の為、3/31(木)まで休館

【ギャラリー】

空調工事の為、4/10(日)まで休館 ※4/11(月)が休館のためオープンは12日(火)から

【イベント】

休館日 7日(月) 14日(月) 22日(火) 28日(月)

【発行】松阪市文化財センター 【☎】0598-26-7330

文化財センター情報は [こちら](#)

【HP】 <https://www.city.matsusaka.mie.jp/site/bunkazai-center/>

